

水産物の市況について(令和元年10月及び令和元年11月)

—東京都中央卸売市場における令和元年10月(令和元年9月21日～令和元年10月20日集計)の市況と、
令和元年11月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和元年10月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、不漁の魚種が多いことから減少し、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、やや強含みに推移しました。

II 令和元年11月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は、やや減少と見込まれ、卸売価格は、やや強含みと見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は、横ばいと見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は、やや増加と見込まれるものの、夏以降不漁が続く、在庫が少ないことから、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は、やや減少と見込まれ、卸売価格は、やや強含みと見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は、横ばいと見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は、減少と見込まれ、卸売価格は、やや強含みと見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量は、減少と見込まれ、卸売価格は、強含みと見込まれます。

「さんま(生鮮品)」

入荷量は、やや減少と見込まれるものの、小型魚の割合が増加することから、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	10月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
元年	26	1,176	32	1,095	28	1,146
前年	34	1,063	39	1,101	29	1,128

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	<u>東京都中央卸売市場卸売価格(概数)</u>			
	10月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	487	114	71	72
さけ・ます(平均)	949	100	87	102
(ぎんざけ塩蔵品)	1,012	101	95	105
(あきさけ塩蔵品)	975	103	113	124
(ときさけ塩蔵品)	1,058	105	79	101
(べにざけ塩蔵品)	1,472	101	96	131
(さけ類冷凍品)	872	100	83	97
さば(生鮮品)	434	90	84	65
するめいか(平均)	939	112	119	153
(生鮮品)	955	115	113	155
(冷凍品)	903	102	128	151
あじ(生鮮品)	710	105	115	119
さんま(生鮮品)	773	70	167	169
まぐろ(冷凍品)	1,507	105	94	98
(めばち冷凍品)	1,059	102	87	93
(きはだ冷凍品)	920	111	98	88
(くろまぐろ冷凍品)	3,301	102	100	92
(みなみまぐろ冷凍品)	1,999	103	103	100
かつお(生鮮品)	871	177	115	98

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:10月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成26年～30年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモン

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 北川、長谷川、大和田

直通 03-3591-5612